

# WIENER Ring-Ensemble

## NEW YEAR CONCERT 2019

ウィーン・リング・アンサンブル

ニューイヤーコンサート2019

2019年1/9(水)19:00  
サントリーホール

Wednesday, January 9, 2019 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo



ライナー・キュッヒル  
(ヴァイオリン)  
Rainer Küchl, Violin



ダニエル・フロシャウアー  
(ヴァイオリン)  
Daniel Froschauer, Violin



ハインリヒ・コル  
(ヴィオラ)  
Heinrich Koll, Viola



ロベルト・ナジ  
(チェロ)  
Robert Nagy, Cello



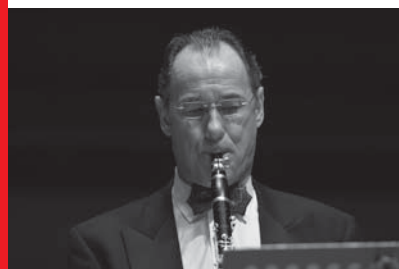
ミヒャエル・ブラデラー  
(コントラバス)  
Michael Bladerer, Contrabass



カール=ハインツ・シュッツ  
(フルート)  
Karl-Heinz Schütz, Flute



ダニエル・オッテンザマー  
(クラリネット)  
Daniel Ottensamer, Clarinet



ヨハン・ヒントラー  
(クラリネット)  
Johann Hindler, Clarinet



ヴォルフガング・トムベック  
(ホルン)  
Wolfgang Tomböck, Horn

スッペ:

Suppé:

J.シュトラウスII:

Johann Strauß II:

J.シュトラウスI:

Johann Strauß I:

J.シュトラウスII:

Johann Strauß II:

メンデルスゾーン・メドレー(生誕210年記念)

Felix Mendelssohn-Bartholdy Medley

ヨーゼフ・シュトラウス: 天体の音楽

Josef Strauß:

A.ランナー:

August Lanner:

ヨーゼフ・シュトラウス:

Josef Strauß:

オペレッタ「詩人と農夫」序曲

"Dichter und Bauer", Overture

ワルツ「芸術家の人生」

"Künstlerleben", Walzer op. 316

オペレッタ「こもり」メドレー

Fledermaus-Medley

リストの主題による狂乱のギャロップ

Furioso Galopp op. 114

ワルツ「シトロンの花咲くところ」

"Wo die Zitronen blühen", Walzer op. 364

常動曲(音楽の冗談)

Perpetuum mobile op. 257

"Ein musikalischer Scherz"

"Sphärenklänge", Walzer op. 235

ポルカ・マズルカ「とんぼ」

"Die Libelle", Polka mazur op. 204

ポルカ・シュネル「大急ぎで」

"Im Flug", Polka schnell op. 230

ワルツ「最初の願い」

"D'ersten Gedanken", Walzer op. 1

ポルカ・シュネル「ごちゃまぜ料理」

"Allerlei", Polka schnell op. 219

S¥9,000 A¥7,000 B¥5,000

主催: KAJIMOTO

※出演者・曲目は変更になる場合もございます。

# あらゆる世代のウィーンの名手、勢ぞろい！色あせない魅力をふりまくニューイヤー

ファン憧れの楽士9名が新春のステージに立つ。恒例だ。毎年のことだ。しかし魅力は色褪せない。伝統を受け継ぐウィーン・リング・アンサンブルは、芸術的な新企画にも目を細める。

達人がいる。かつて誰よりも早く国立歌劇場のオーケストラピットや楽友協会のステージに登場し、手の内に入ったレパートリーを懸命にさらっていたライナー・キュッヒル教授、健在だ。

そんな元コンマス氏を弦楽四重奏でも支えてきたヴィオラの慈父ハイムリヒ・コル、ハンガリー出身の首席チェリストでソロも素晴らしいロベルト・ナジ、さらにクラリネットの職人ヨハン・ヒントラー、ホルンの匠ヴォルフガング・トムベックの名に、あらためて微笑む。

ウィーン・フィルの今を映し出すヴィルトゥオーゾもメンバーだ。2017年の初夏、楽団長に選出されたダニエル・フロシャウアー、同じく事務局長のミヒャエル・ブラデラーが笑顔で秘技を披露するかと思えば、

フルートの演奏史に名を刻むカール=ハインツ・シュッツの華麗な音色がホールを満たす。

クラリネットの貴公子ダニエル・オッテンザマーの加入に狂喜乱舞している方も多いのではないか。かのペーター・シュミードル、なき父エルンストからダニエルへ。これがウィーンの系譜である。

「こうもり」とメンデルスゾーンのメドレーが2019年の華。歴史をひもとけば、メンデルスゾーン没後100年の1947年に、楽友協会とウィーン・フィルはフルトヴェングラーの指揮で特別公演を開催している。2019年、ステージの9名はさて何を。

ワルツ王の弟ヨーゼフ・シュトラウスの味わい深い調べこそ、ウィーン・リング・アンサンブルで、という方もいらっしゃるだろう。

実に29回目の公演。もうすぐ逢える。

奥田 佳道(音楽評論家)



お正月はやっぱり  
ウィーン・リング・アンサンブル!

## ウィーン・リング・アンサンブル Wiener Ring-Ensemble

ウィーンの旧市街を取り巻くこの街ならではののみごとな環状道路、「リング」にちなんで命名されたこのアンサンブルは、まさにウィーン音楽を演奏するために結成された。

2016年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の名コンサートマスターとして同団を率いたライナー・キュッヒルを中心に、ヴァイオリン2人、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1人にクラリネット2人の9人編成で、ウィーン・フィルの腕利きの主要メンバーたちである。

ウィーン情緒の香り高いシュトラウス・ファミリーやツィラー、ランナーたちのワルツ、ポルカの演奏は、ウィーンに寄せる彼らの愛情と誇りを痛感させ、聴く者をこの上ない幸福感で満たしてくれる。

ウィーン楽友協会での年末恒例のコンサート・シリーズでは、1999年以降、ウィーン・リング・アンサンブルの演奏会が毎年ブラームスザールで行われ、地元ウィーン子の絶賛を集めている。2002年夏には、ルツェルン・フェスティバルに招待された。

日本へは1991年に初来日し、引き続き1993年以降毎年のように来日。ウィーンでの「ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート」に出演後、すぐに日本へ駆けつけてニューイヤー・コンサートを行い、本場の響きと香りをそっくり日本のファンに届けている。

1998年には長野オリンピック文化・芸術祭参加公演に選ばれ、現地で2回の演奏会を行った。その他、度重なるテレビ放映、CDで、日本でもすっかりおなじみの存在である。29回目の来日となる2019年から、クラリネットにダニエル・オッテンザマーが参加。

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

[www.kajimotoeplus.com](http://www.kajimotoeplus.com)

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)  
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 129-964)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

twitter @kajimoto\_News

facebook

YouTube YouTube

“kajimotomusic” で検索!

@kajimotomusic



カジモト・イープラス

一般発売:

9/30(日) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 9/21(金) 12:00~9/24(月・祝) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。  
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>